



「山田町斎場」への案内看板の設置が待たれます（織笠：細浦地区）



稲川勝憲議員

## 案内標示

# 「山田町斎場」の案内板を

## 不便をかけないように設置

**質問** 町外から火葬に参列する人たちが、山田町斎場に行くのに「進入路がどこか分かりにくい」という話が出されている。

これらを解消するため、国道45号と町道織笠外山線が接する細浦地区に、例えば、矢印入りの「山田町斎

場」の案内板を設置すべきと思うが、そのような考えはないか。

**沼崎町長** 国道45号からの進入路については、特に案内板の表示がなく、町外からの利用者が分かりにくいということも考えられる。このことから、実情を踏

まえ、設置費用や設置場所などについて関係機関と協

議しながら検討を行い、利用者の人たちに不便をかけないように設置していく。  
**質問** 担当課長は、現地を確認したことがあるか。  
**千代川住民生活課長** 現地は確認している。町内の葬儀会社2社に出向き状況も調査している。

## 機構改革 小回りのきいた課に改めては 組織再編成について検討中

**質問** 現在の行政機構は、16年4月に課の統廃合により係制が廃止され、代わってチーム制が導入となり、町長部局においては、8課が設置されている。

一部の課では、統廃合により業務の担当分野が広くなり、必ずしも行政の効率化が図られていないのではないかと感じられる。

本年は、機構改革から5年目となり、もう少し小回りのきいた課に改める時期でないかと思う。

今後、事務改善研究委員会などでこれらを検証し、

来年4月に向けて機構の見直しを図るべきと思うが見解を示せ。

**沼崎町長** 副町長を委員長に、課長補佐を委員として「事務改善研究委員会」を設置している。職員定員適正化計画を基に、職員の効率的活用を図るために制度化された課の統廃合、係制度の廃止・複数の担当で構成するチーム制、主幹制の導入、代決専決権の拡大などについて検証している。次期組織機構の再編成と併せて、来年4月の見直しについても検討中である。

## 町の考えを聞く